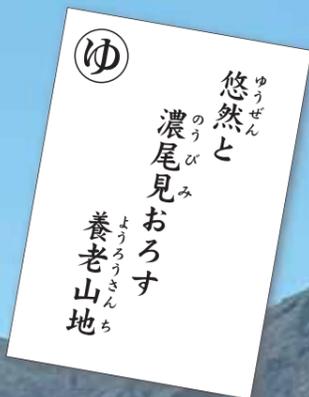


# 議会だより



養老かるた

シリーズ



新年度予算 注目は？	3
予算特別委員会報告	4
常任委員会報告	8
こんなことが決まりました	9
町の考えを問う(6議員が一般質問)	10
常任委員会 行政視察報告	14
議会ニュース	15
あれから「男性トイレのサンタリーBOX」は どうなったんやあ〜	15
未来へつなぐ養老町	16
子どもの声	16

3月

定例会



議会QRコード



議会QRコード

マチイロ

スマホでよろう議会だよりが読めます

## 未来へつなぐ養老町 第2回

養老町で活躍する団体の活動内容等をご紹介します。

### ★ 養老観光ボランティアガイド(の会) ★

この会は、観光客に養老公園の歴史や自然を紹介するグループで、2018年に設立されました。現在会員は16名で、昨年度は216名(14件)の方をガイドしました。

ガイドを依頼された方が、友人や知人と一緒にまた次回来てくださることを願い、案内しています。

昨年、某ハイキングクラブ所属の5名を案内させていただいたところ、後日そのクラブから50名以上の方が来園され、ガイドをさせていただいた時は、とても嬉しかったです。

ガイドを依頼されるほとんどの方は、養老の滝を希望されますが、その他には、

- ・「養老」改元について
- ・公園開設の経緯について
- ・養老神社と菊水泉
- ・鬼面山
- ・孝子について
- ・芭蕉の句碑や万葉歌碑 等 を紹介しています。



県外で生まれ、30歳を過ぎてから養老町に移住した私でもガイドをしています。ガイドを続けてこられたのは、仲間がいて、また、体力や記憶力の維持にも役立ち、お客様の笑顔が見られるからです。近隣の市町にもガイドの会があり、定期的に情報交換をしています。

この活動にご興味を持たれた方は、下記まで連絡をお願いします。



世話人：関 隆夫 養老町在住、静岡県出身  
ガイド歴：6年

問合せ：養老町鷺巣1200番地 養老町観光インフォメーション  
電話：0584-51-6603 火曜日を除く(10時~16時)

ガイドの依頼はこちら →



大人のみならず、町内の子どもたちにも議会を身近に感じてもらい、興味を持って頂けるよう、子どもたちの素直な意見が聞けるコーナーです。今回は町内小学6年生にお願いしました。

私は、一番身近な交通手段である、車や電車が大好きです。特に電車は、走るのも好きだし、ラッピングがされているのも楽しいです。先日、養老鉄道とシナモロールがコラボすることがありました。ラッピングされた電車や、コラボグッズがあり、とても楽しかったです。これからも、こういったコラボがあるといいと思います。

また電車は、免許を返納した人にとっては、無くてはならない交通手段です。今は回数券が一回だけもらえますが、たとえば、免許を返納した証明書を発行して、それを見せるとただで電車に乗れたりすると、さらにお年寄りが豊かに暮らせる町になると思います。

養老町議会の議員の皆さんは、養老町が住みよい町になるように色々考えていらっしゃるかと学習しました。多くの方が利用する交通について、私のような考えをもつ人も多いのではないかと思います。実践できると嬉しいです。

(養北小1さん)

#### 議会だより編集特別委員会

- |            |            |           |
|------------|------------|-----------|
| 委員長 清水 由美子 | 副委員長 吉田 太郎 |           |
| 委員 野村 永一   | 委員 岩永 義仁   | 委員 大橋 みち子 |

「わたしの声」を待っています。  
役場ロビーに意見箱を設置してあります

「わたしの声」  
の宛先は

〒503-1392 養老町高田798番地 養老町議会事務局内  
TEL (0584) 32-5084 (直通) FAX (0584) 32-1812  
メールアドレス:14gikai@town.yoro.gifu.jp



印刷/盛福印刷(株)

# 3月定例会

令和6年第1回定例会が、3月4日から21日までの18日間の会期で行われた。

初日（4日）は、町長より新年度の施政方針が示され、専決処分3件の報告を受け、補正予算に関する専決処分を承認した。

また、条例改正、令和5年度補正予算及び令和6年度一般会計予算を含む全28議案の提案説明を受け、総括質疑を行った。条例改正等13議案を各常任委員会へ付託し、補正予算及び新年度予算15議案を予算特別委員会に付託することに決定した。

他に、人権擁護委員候補者の推薦3件について同意し、議員発議である町長の専決処分事項の指定の変更について可決した。2日目（19日）は、6議員が一般質問を行った。

最終日（21日）は、付託した各委員会の委員長から審査報告があり、令和6年度一般会計予算を含む全28議案を原案のとおり可決した。

また、条例の一部改正についての追加議案があり、提案説明を受け、質疑討論を経て可決した。

## 令和6年度予算 203億8,940万円 (3.2%増)

### 一般会計 120億2,300万円 (5.0%増)

※増減は令和5年度当初比

## 令和6年度 編集委員が選ぶ 注目事業

### 「清流の国ぎふ」文化祭2024 養老町実行委員会事業

1,898千円

愛の詩町実行委員会及び県詩人会と協力して愛の詩募集事業を拡大。町実行委員会主催による「家族の絆 愛の詩発表会」を全国文化交流事業として開催。県内外へ向けて養老町の魅力を発信。

### 学校のあり方検討事業

1,464千円

養老町の小中学校で学ぶ児童生徒数の推移を踏まえ、「学校のあり方検討委員会」を設置し、子ども達にとってより良い教育環境について、将来を展望した学校のあり方について検討する。

### 子ども・子育て支援事業 (地域子育て支援拠点事業)

25,917千円

私立保育園・こども園と連携し、地域子育て支援センターを運営することで、未就園児と保護者に対する子育て支援をする。

### 子ども・子育て支援事業 (病児保育事業)

22,576千円

子どもが病気の際、保護者の就労等により自宅での保育が困難な場合、一時的に保育する場を確保し、保護者の負担を軽減する。民間事業者が町内に病児保育施設を建設する際の費用の一部を補助。

### 食肉基幹市場建設推進事業 (用地取得関係事業)

142,162千円

建設候補地の用地測量（土地の境界及び面積等を調査）、土地利用履歴調査（土壌汚染の可能性を調査）、不動産鑑定評価（不動産鑑定評価額の算出）、候補地内の補償対象物件調査、補償算定業務など

### 東海自然歩道及び養老山頂登山道維持管理費

13,898千円

本町内を通る東海自然歩道及び養老山頂登山道の維持管理を行う。登山道の新たなビューポイントとしてアセビ平にウッドテラスを新設。

### 地域消費活性デジタル化事業

21,272千円

養老Payアプリの利用者拡大を図るため、養老Payの各機能を活用したキャンペーン等を実施し、参加者に電子マネーとして利用できる地域ポイントを付与する。

### 文化財保護事業

5,924千円

町史跡に指定された千人塚1号古墳及び象鼻山古墳について、案内看板や安全柵を設置するなど、その周辺の保護と環境整備を行う。

## 定例会の主な(総括)質疑内容

●養老町個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部改正

問 新たに規定する特定個人番号事務とは。

答 各機関が持つマイナンバーを含む特定個人情報提供を受けることにより、情報連携や効率化を図るべきものとして主務省令で定める事務。

●令和6年度一般会計予算

問 税の公平公正や健全な財政運営の観点を踏まえた今後の財政運営の考え方は。

答 借金である町債は縮減することも新たに徴収指導員を配置するなど、自主財源

の確保に向け職員一丸となって取り組んでいく。養老町に住んで良かったと思われるような財政運営を心掛けた。

問 物価高騰などで町民生活が逼迫しており、暮らしや生業を守るため積極的な基金の活用も待た望まれているが見解は。

答 物価高騰の影響から町民の暮らしを守る事業として、「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用した低所得者支援及び定額減税補給金給付事業、給食費の公費負担等を実施している。

●令和6年度一般会計予算

問 物価高騰の影響から町民の暮らしを守る事業として、「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用した低所得者支援及び定額減税補給金給付事業、給食費の公費負担等を実施している。

また、ふるさと応援基金は、学校関係の改善や子育て支援のために実施する事業のほか、町民の健康づくりのために実施している事業など、町民の福祉の増進や活力あるまちづくりのために活用している。

●養老町布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部改正

問 養老町布設工事監督者及び水道技術管理者は本町に何名いるか。

答 養老町布設工事監督者、水道技術管理者ともに職員5名。

問 水道技術管理者の講習はどのように行われるか。

答 公益社団法人日本水道協会が主催で行い、学科講習、学科試験、実務研修などを経て資格取得する。

●養老町布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部改正

問 養老町布設工事監督者及び水道技術管理者は本町に何名いるか。

答 養老町布設工事監督者、水道技術管理者ともに職員5名。

問 水道技術管理者の講習はどのように行われるか。

答 公益社団法人日本水道協会が主催で行い、学科講習、学科試験、実務研修などを経て資格取得する。

# 予算特別委員会への付託議案

●令和5年度養老町一般会計補正予算(第7号)

**問** 養老鉄道活性化事業について、社会資本整備総合交付金を活用することだが、具体的な事業内容は、

**答** 本事業に関連する改正法案が令和5年10月に施行されたことに伴い、計画変更を申請し、令和6年2月29日に変更認定がされたもので、老朽化する施設や早期な対応が必要な枕木や電柱、信号機関連機器、遮断器などの更新を予定している。



**問** 私立保育所運営事業について、令和5年度人事院勧告による保育士の賃金改定とのことだが、6私立園へどのように配分するのか。また、公立と私立の賃金格差の現状はどうか。

**答** 私立保育所への運営費補助については、園児の人数や年齢により基準がわかれているので、各園それぞれ算出した金額を基に支給している。公立の職員については、定期昇給等により対応している。



**問** 食肉基幹市場建設推進費の用地取得関係事業は、今年度実施できず次年度に繰り越していることだが、実施できなかった要因及び次年度の進め方は、

**答** 今年度は該当地区への説明会や意見交換会を開催し理解醸成に努めてきたが、様々な憶測や疑問点が多く出されたため時間を要したと考えている。今後、意見交換会などで説明を重ねながら理解いただけるよう努めていく。



**問** 除雪対策費について、町道の除雪をする優先順序などはあるのか。

**答** 除雪は町内31事業者に委託しており、前もって除雪する道路及び優先順序を決めている。

**問** 町政70周年事業について、町内の各種団体が企画実施する事業に対し交付する補助金の額と対象団体は、

**答** 1事業に対し補助率4分の3で30万円を上限とする。対象団体の規定はない。



**問** 物価高騰に伴う低所得世帯支援事業の対象者と人数、及び支給方法と時期は、

**答** 定額減税は1人あたり所得税が3万円、住民税が1万円を基準として減税するが、それぞれ減税しきれなかった方に対して本事業で差額分を支給するもの。課税者は5111人と推計している。対象者は口座を町で把握できていない方がほとんどである想定されるので申請方式を採用し、支給時期は、6月課税後に算定し、できるだけ早く、支給できるよう考えている。

**問** 職員研修事業について、震災を経験した自治体の話を伺ったり、現地へ派遣された職員の経験を全員で共有するなど、震災対応に関する研修も大切だと思うが見解は、

**答** 重要なことと考えており、派遣職員の情報共有の方法や被災地からの講師を招いた研修の手法について、研究していきたい。

**問** 婚活支援事業は、町内のみでイベントやアンケートを実施するのか、町外も含め広域的に実施するのか。

**答** 令和6年度に婚活イベントを専門に実施している業者に、委託して実施することを検討しており、まずは町内範囲でイベントを開催することを考えている。その後、参加者等の状況を見ながら拡大できるか検討する。

**問** 民間事業者による病児保育施設の建設場所と運営開始時期、受け入れ可能月齢や利用料の設定は、

**答** 経営実績がある大垣市の法人が実施し、令和7年4月の開設を目指している。受け入れ月齢や、利用料、建設場所はまだ未定。早期の開設に向けて前向きな話をいただいております。町としてしっかり支援しながら施設運営を後押ししていきたい。



**問** 2市9町で負担する精神障害者地域生活支援センター事業について、養老町民の利用者数は、また、精神障害者手帳を取得している方が対象か。

など様々な誓約をいただいているから受付ける。

**答** 昨年度実績に基づき、292名で予算計上している。精神障害者手帳を取得していない方も、手帳申請中や、医師の指示により利用することも可能。

**問** 食肉基幹市場建設推進費の事業説明関係事業の内容は、

**答** 沢田区、桜井区の地元住民が先進地へ視察するためのバス借り上げ料などの経費を計上した。3、4回に分けて実施するもので、時期は関係者と協議しながら決定していく。

**問** 観光事業振興費における新能の開催内容は、

**答** 秋に開催することを考えており、今年度、県主催で開催された新能と同等規模以上の集客を計画している。養老公園内で開催し、雨天時は町民会館での開催を考えている。



**問** 建築物等耐震化促進事業が令和5年度実績で減額であるが、震災が発生し町民の耐震化への関心が高まっていると考えられる。制度の周知をどう考えているか。

**答** 複数回にわたって周知し、幅広く利用いただけるよう努めていきたい。

**問** 建築物等耐震化促進事業が令和5年度実績で減額であるが、震災が発生し町民の耐震化への関心が高まっていると考えられる。制度の周知をどう考えているか。

**答** 大坪地内に建設し、事業費546万円。



**問** ヨロオフィス維持管理事業における安心安全認証プログラム更新の内容は、

**答** 安心安全認証プログラムはセキュリティ確保のために毎年更新が必要になる。利用者が安心して利用できるよう、相当高度なセキュリティであるトリプルスターを構築している。利用者の状況を見ながら、セキュリティ体制について検討していく。

**要望** 独自開発のアプリではなく、大手のアプリを活用している自治体もあることも視野に入れながら、今後の事業展開について検討いただきたい。

**要望** 発達障害の方々は精神障害者手帳を取得することにより保護者に対して給付金が支給されたり、20歳になった際に障害者年金の対象となる。発達障害に関する相談があった際は真摯に対応いただきたい。

**答** 飼い主のいない猫を動物病院で去勢手術した費用に対して、雄が3000円、雌が4000円補助するもの。手術を受ける前に町へ申請が必要。申請時に飼い主のいない猫であること

**要望** 発達障害の方々は精神障害者手帳を取得することにより保護者に対して給付金が支給されたり、20歳になった際に障害者年金の対象となる。発達障害に関する相談があった際は真摯に対応いただきたい。

**問** 通級指導教室における発達障害児童生徒については、学校保護者、専門医などがしっかりと連携を取って指導いただきたいが見解は。

**答** 特別支援教育を進めるにあたり、医療及び福祉へつないでいくことは大変重要であると考えており、関係職員への研修を実施し、保護者から質問があった際に、概要の説明や窓口案内はできるよう連携しながら進めていく。子どもの診断状況については保護者の関心が高く、医療機関や巡回指導、そよかぜ教室等と連携し、園から、小、中、さらに高校まで連携しながら進めていく体制が充実してきたと感じている。

**答** 特別支援学級の担当者を中心に全校体制で進路先を決めている。子どもの特性と希望、さらに保護者の願いをすり合わせて進路先を決定していくよう、丁寧に取り組んでいる。

**答** 補助金を活用するには断熱性の確保が前提条件となり、どの体育館も確保されていない現状である。まずは断熱性確保に向けての事前調査から進め現状を把握したうえで、長い工期による学校生活への影響など、様々なことを総合的に勘案しながら、調査研究していきたい。

**要望** 学校のあり方検討委員会については、子育て世代など若い委員が出席しやすいよう開催日時を配慮いただきたい。また、各種団体代表の委員については、委員だけでなくそれぞれの団体での意見が反映されるように、代表の方へ配慮いただくとともに、会議のやり方を工夫していただきたい。



**問** 児童就学援助事業を申請する際には、本町では民生委員の所見が必要であるが、他市町では所見が必要ないケースもある。今後どのような方向性で進めていくか。



**問** 特別支援学級に在籍する生徒の進路協議はどのような体制でしているか。

**問** 国の学校設備環境改善交付金の補助率が2025年から3分の2に引き上げられるが、今後、小中学校の体育館にエアコンを設置する計画はあるか。

**答** 様々な協議をした結果、学校だけの視点ではなく、できるだけ多くの目で支援を実施するために民生委員の所見は継続していく。児童を孤立させないよう、学校と民生委員と連携しながら進めていきたい。

**問** 文化財保護事業の、千人塚1号古墳整備事業の具体的な内容は。



**答** 火葬件数に対して告別式利用者数が若干増加傾向であるが、家族葬及び火葬のみの利用者も多くなっているため使用料の減額を見込んでいます。今後、告別式場の利用料も含め調査研究していく。

**問** 税の公平公正の観点から、本町の滞納不納欠損が他市町と比較すると非常に大きくなっている点、及び宅地等在農地の適正な課税についての見解は。

**答** 税金の納付は国民の義務であり、引き続き、差し押さえなどを実施して税収確保を進めていく。また、滞納者の様々な状況にも寄り添いながら、分納誓約や納税相談などを実施して対応していきたい。宅地等在農地については調査研究し、次回評価替えのタイミングで対応していきたい。

※宅地等在農地とは、宅地等への転用の届出・許可を受けた土地で、その後の賦課期日時点においても転用目的を達成していない土地をいう。

**問** 令和6年度養老町国民健康保険特別会計予算

**問** 令和6年度養老町立食肉事業センター特別会計予算

**問** 令和6年度養老町介護保健事業特別会計予算

**問** 新たな介護保険料の算定方法は。



**問** 令和6年度養老町立水道事業会計予算

令和6年5月に臨時会を6月に第2回定例会を開催予定です。

**問** 令和6年度養老町国民健康保険特別会計予算

**問** 令和6年度養老町立食肉事業センター特別会計予算

**問** 令和6年度養老町介護保健事業特別会計予算

**問** 令和6年度養老町立水道事業会計予算



**問** 令和6年度養老町立水道事業会計予算

令和6年5月に臨時会を6月に第2回定例会を開催予定です。

**問** 令和6年度養老町立食肉事業センター特別会計予算

**問** 令和6年度養老町介護保健事業特別会計予算

**問** 令和6年度養老町立水道事業会計予算

**問** 令和6年度養老町立水道事業会計予算



**問** 令和6年度養老町立水道事業会計予算

令和6年5月に臨時会を6月に第2回定例会を開催予定です。

**問** 令和6年度養老町立水道事業会計予算

**問** 令和6年度養老町立水道事業会計予算

**問** 令和6年度養老町立水道事業会計予算

**問** 令和6年度養老町立水道事業会計予算



**問** 令和6年度養老町立水道事業会計予算

令和6年5月に臨時会を6月に第2回定例会を開催予定です。

**問** 令和6年度養老町立水道事業会計予算

**問** 令和6年度養老町立水道事業会計予算

**問** 令和6年度養老町立水道事業会計予算

**問** 令和6年度養老町立水道事業会計予算



**問** 令和6年度養老町立水道事業会計予算

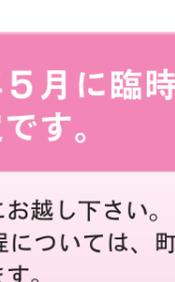
令和6年5月に臨時会を6月に第2回定例会を開催予定です。

**問** 令和6年度養老町立水道事業会計予算

**問** 令和6年度養老町立水道事業会計予算

**問** 令和6年度養老町立水道事業会計予算

**問** 令和6年度養老町立水道事業会計予算



**問** 令和6年度養老町立水道事業会計予算

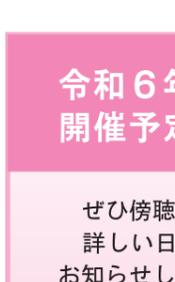
令和6年5月に臨時会を6月に第2回定例会を開催予定です。

**問** 令和6年度養老町立水道事業会計予算

**問** 令和6年度養老町立水道事業会計予算

**問** 令和6年度養老町立水道事業会計予算

**問** 令和6年度養老町立水道事業会計予算



**問** 令和6年度養老町立水道事業会計予算

令和6年5月に臨時会を6月に第2回定例会を開催予定です。

令和6年5月に臨時会を6月に第2回定例会を開催予定です。

ぜひ傍聴にお越し下さい。詳しい日程については、町ホームページと「広報よろう」6月号でお知らせします。一般質問の日は車いすの方も議会を傍聴していただけます。ご不明な点は、議会事務局までお問い合わせ下さい。

議会の様子をライブ配信で見ることができます。

養老町議会では、町ホームページまたはLINEの公式アカウントより定例会の様子をライブ配信し、議会当日の様子がご覧頂けます。また当日は、役場ロビー設置のテレビで放映しています。



議会QRコード



議会QRコード

### 総務民生委員会への付託議案

●養老町非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

**問** 学校のあり方検討委員会での検討はどれくらいの期間を考えているか。

**答** 学校のあり方について教育委員会から諮問し、検討を重ね、方向性が決定されたうえで答申されるまでの間設置する。検討期間については審議を進めていく中で決定されていくものと考えている。児童数の推移など学校教育の現状を踏まえ、適正規模や適正配置などについて審議していただくとともに、シンポジウムやアンケート調査等を実施するなどして、学校のあり方についての基本方針や骨子案を作成できるようにスケジュールを考えている。

**問** 学校のあり方検討委員会の人数と構成メンバーは。

**答** 学識経験者2名、議会代表、区長代表、校長会代表、こども園代表、保護者代表とも園代表、保護者代表、保育園保護者代表、一般公募2名程度など、計15名程度と考えている。

●養老町職員の給与に関する条例の一部改正

**問** 条例改正により加算される地域手当に該当する職員数と見込み金額は。

**答** 令和6年度に国との人事交流として町職員を派遣することを予定しており、それに伴い地域手当を創設するもの。国の一般職の給与に関する法律に基づき、

給与の100分の20を加算する。令和5年度については、該当者はいない。

●養老町手数料条例の一部改正

**問** 今回手数料が改正される消防施設は町内で該当するか。

**答** 町内に該当施設はない。

**問** 今回、県から新たに飼養の登録などの事務について権限移譲を受ける鳥獣の種類は。

**答** 鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律の規定による許可を受けて、捕獲した鳥獣のうち、対象狩猟鳥獣以外の鳥獣であり、本町ではほぼ想定されないと県から伺っている。

●養老町介護保険条例の一部改正

**問** 今回の保険料改定により9段階から13段階の区分となるが、第1段階と第3段階は料金が下がることに対して、第2段階の料金が上がる理由は。

**答** 条例上は第2段階は増となつていますが、国の基準に基づき第1段階から第3段階までは軽減措置を行うため、軽減後は第1段階から第3段階まで全て保険料は減となる。

**問** 改正後に第10段階から第13段階となる割合は。

**答** 見込みとして、第10段階が98名で1%、第11段階が41名で0.42%、第12段階が32名で0.32%、第13段階が117名で1.19%と試算している。

### 産業建設委員会への付託議案

●養老町営住宅管理条例の一部改正

**問** 今回の改正内容は。

**答** 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律の改正により、「保護命令」の内容が「接近禁止命令」と「退去等命令」に区分されたことから、本条例においても入居資格を規定するうえで必要となるため条項を追加した。

●養老町上水道事業給水条例の一部改正

**問** 水道整備・管理行政の一部事務が厚生労働大臣から国土交通大臣へ移管されることにより、各自治体においては、具体的にどのようなメリットがあるのか。

**答** 水道整備・管理行政の一部事務が厚生労働大臣から国土交通大臣へ移管されることにより、各自治体においては、具体的にどのようなメリットがあるのか。

●養老町テレワーク施設の指定管理者の指定

**問** 指定管理者と管理料に関する相談はあったのか。また、赤字補填に関する協議はあるのか。

**答** 社会資本整備や災害対応に関する専門的な能力知見を有する国土交通省に移管されることにより、水道事業者の経営環境の改善や、施設の耐震対応強化がより図られるようになると思われる。

**答** 管理料及び赤字補填に関する相談はない。

**要望** テレワーク施設を宿泊もできる施設にすれば立地条件からも利用拡充に資するものと考えられるので、検討願いたい。

## 令和6年3月 定例会

# こんなことが決まりました

審議した議案とその結果

議案	結果
<b>令和6年度予算</b>	
一般会計	全員賛成で可決
国民健康保険特別会計	全員賛成で可決
簡易水道特別会計	全員賛成で可決
食肉事業センター特別会計	全員賛成で可決
住宅新築資金等貸付特別会計	全員賛成で可決
上水道事業会計	全員賛成で可決
下水道事業会計	全員賛成で可決
介護保険事業特別会計	全員賛成で可決
介護サービス事業特別会計	全員賛成で可決
後期高齢者医療特別会計	全員賛成で可決
<b>令和6年度繰入れ</b>	
食肉事業センター特別会計	一般会計から7,786万5千円繰入れる
<b>令和5年度補正予算</b>	
一般会計（第7号）	全員賛成で可決
国民健康保険特別会計（第3号）	全員賛成で可決
介護保険事業特別会計（第3号）	全員賛成で可決
後期高齢者医療特別会計（第1号）	全員賛成で可決
<b>条例</b>	
指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令の公布に伴う関係条例の整備に関する条例制定	全員賛成で可決
養老町監査委員条例の一部改正	全員賛成で可決
養老町個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正	全員賛成で可決
養老町非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	全員賛成で可決
養老町職員の給与に関する条例の一部改正	全員賛成で可決
養老町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正	全員賛成で可決
養老町手数料条例の一部改正	全員賛成で可決
養老町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正	全員賛成で可決
養老町介護保険条例の一部改正	全員賛成で可決
養老町営住宅管理条例の一部改正	全員賛成で可決
養老町上水道事業給水条例の一部改正	全員賛成で可決
養老町消防団員等公務災害補償条例の一部改正	全員賛成で可決
養老町布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部改正	全員賛成で可決
<b>その他</b>	
専決処分の報告（養老町営住宅の管理に関する訴えの提起）	報告のみ
専決処分の報告（損害賠償の額の決定）	報告のみ
専決処分の報告（損害賠償の額の決定）	報告のみ
専決処分の承認（令和5年度養老町一般会計補正予算（第6号））	全員賛成で承認
養老町テレワーク施設の指定管理者の指定 神奈川県逗子市桜山（株）GLOCAL 令和6年4月1日～令和7年3月31日	全員賛成で可決
<b>同意</b>	
人権擁護委員 高木和子（再任） 桑原利恵（再任） 山田周一（新任）（敬称略） （任期 令和6年7月1日から令和9年6月30日）	同意

6人の  
議員が登壇

### 一般質問

# 町の考えを問う

3月定例会では6人の議員が登壇しました。ここでは、質問と答弁を要約した内容を登壇順（質問順）にお知らせします。また、それぞれの議員のQRコードより一般質問の録画放送がご覧頂けます。

質問議員	質問事項	ページ
いわなが 岩永 よしひと 義仁	◎新食肉施設土地購入に対する方針は	10 
みずたに 水谷 くみこ 久美子	◎防災対策の課題解決は ◎子育て環境の整備は	11 
しみず 清水 ゆみこ 由美子	◎災害対策の現状と見直しは	12 
はやさき 早崎 ゆりこ 百合子	◎熱中症対策の推進は	12 
さの 佐野 しんや 伸也	◎災害における高齢者支援は	13 
おおはし 大橋 みち子	◎子どもの居場所づくりは	13 

能登半島地震から二か月半が経過。今も1万人以上の方が避難所での生活を余儀なくされ、家屋やライフラインの復興支援が喫緊の課題である。

## 防災対策の課題解決は

### 町長 必要な整備に取り組む



みずたに くみこ 議員  
◆水谷久美子



**問** 文科科学省は、令和17年度までに全国の小・中学校の95%の体育館に空調設置を達成する方針である。当町の計画は。

**答** 現段階で設置予定はない。洋式の簡易トイレの配備数は190基あり、国のガイドラインで定める「避難者50人当たり1基」の基準をクリアしている。

**問** マンホールトイレ等の設置対応は。

**答** 大変重要な課題と認識するが調査したい。

**問** 地震時に火災を予防する「感震ブレーカー」に設置補助を。

**答** 空調設置には、断熱の確保が必要であり、早急に状況を把握したい。建具改修・外壁面の断熱など効果的対策を検討し、どの学校から整備するか検討したい。

**問** 罹災証明書の発行、被災者の身体ケアなど職員不足への対策は。

**答** 平成30年に「応急対策職員派遣制度」が創設され、被災市町村の災害マネジメントや災害応急業務等を支援する。外部支援に万全を期したい。



感電ブレーカー 岐阜県HPより

## 子育て環境の整備は

### 町長 必要な整備に取り組む

**答** 育休制度の充実や家庭養育の家庭もあり公平性の観点から、無償化は実施していない。無償化による概算保育料は、約3070万円、利用料は、約28万円。

**問** 3歳未満児の保育料や療育費の無償化への見解は。無償化した場合の予算の概算は。

**答** 制度の理解を深めているところであり、今後の動向に注視したい。入園月齢は、見直す考えはない。

**問** 「1人も家庭片は、2026年度から」※「1人も誰でも通園制度」を実施する方針を打ち出しているが現在の進捗は。また、公立園の入園月齢（10か月）見直しは。

町長は、令和6年度施政方針の中で、「子育て支援策の充実」を掲げている。基本方針2つ目に「子育て支援策の充実」を掲げている。

**問** 保育士の配置基準の改正に伴う1、4、5歳児の加算配置は万全か。

**答** 3歳児については、既に園児15人に保育士1人を、4・5歳児は、園児25人に保育士1人を確保している。私立園も同様に基準に基づいた配置である。令和7年度の1歳児5人に保育士1人への改善も適正に行う。

※1人も誰でも通園制度とは、親の就労に関係なく町が指定した支援拠点に生後6か月から子どもを預けられる制度。



いわなが よしひと 議員  
◆岩永 義仁

## 土地購入に対する方針は

### 町長 決定に沿って進めていく

新食肉施設の用地は令和7年度の購入を目指していることが判明した。購入費用の総額や購入方法については公表されていない。

**問** 購入費用として想定される約50億円は全額養老町の負担となるか。また、補助金等はあるか。さらに、この借金の返済は何年の予定か。

**答** 補助金等はなく全て町の負担となる。返済については30年償還で計画している。

**問** 事業計画や町の不信感があるのか、施設の建設予定地区では新施設の建設に反対を表明して活動も行われている。町長の見解は。

**答** 建設効果は高いと考える。県食肉協議会の決定事項に沿って進めていく。

**問** 土地購入に関する前回の一般質問での「負担が少なくなる計画変更の提案」に対する町長答弁「オール岐阜での事業なのでご理解いただきたい」旨の発言について。町長ならば、町や住民の負担増になり不利益を被るような事業は断ることも必要ではないか。



岐阜県新食肉基幹市場基本構想



清水由美子 議員

# 災害対策の現状と見直しは

## 町長 教訓を防災対策に活かす

多くの被害を出した能登半島地震。地域防災計画の見直し、インフラ老朽化への対策、その財源について、職員の参集体制等問う。

**問** 地域防災計画の見直しは。

**答** 国の防災基本計画を踏まえ適切に見直す。

**問** 町職員や医療従事者の参集体制は。

**答** 職員災害初動マニュアルを配布、適切に対応。実際に1月1日には関係職員が参集した。医師会等と災害協定締結。県を通じてDMAT・DHEAT等を派遣要請する。

**問** インフラ老朽化への対応は。

**答** 上水道の基幹管路の耐震化率は82・5%で今後も布設替えを進める。下水道は状況に応じた修繕・取替等により長寿命化を図り、道路・橋梁は道路パトロー

※DMATとは災害派遣医療チーム  
DHEATとは災害時健康危機管理支援チーム



早崎百合子 議員

# 熱中症対策の推進は

## 町長 予防意識の醸成に努める

年々温暖化している日本。猛暑となる夏季だけでなく、春季より、町民の命を守るため、町ができる熱中症予防対策の必要性が求められる。

**問** 地域住民の生命を守るための取り組みは。

**答** 熱中症特別警戒情報が発表された場合には、町防災無線で、熱中症特別警戒情報発表の周知を図り、一層の熱中症予防行動が必要なことを住民に呼びかけを行う。

**問** 高齢者の熱中症に対する予防の取り組みは。

**答** 町の情報提供及び啓発活動や、地域での声掛けを随時行い、熱中症予防への意識の醸成に繋げる。

**問** 子どもの居場所について実態把握は。

**答** 就学前児童及び小学生の保護者や町内の17・18歳に居場所に関するアンケートを実施。町内にある居場所は、児童館、図書館、スマイルゲンちゃん学習会、子ども食堂、文化スポーツイベント、地域の公園などがある。心のよりどころとして、孤立しないようにつながりを育んでいる場としている。



環境省HPより

**問** 子どもの熱中症防止の取り組みは。

**答** 学校教育活動等において、ガイドラインを基本とし、暑さ指数により、活動場所を考慮するなど適切に対応している。

**問** 子どもの熱中症防止の取り組みは。

**答** 園生活では、マニュアル等を参考に、日陰の確保やこまめな水分補給など適切に対応していく。



佐野 伸也 議員

# 災害における高齢者支援は

## 町長 適切な支援体制を確保する

災害発生時に高齢者の避難を支援することが困難となっている今、だれひとり取り残さないための協力体制が必要と考える。

**問** 災害発生時の要支援者への対応は。

**答** 災害対策基本法の改正により避難行動要支援者への個別避難計画の策定が努力義務とされた。誰が避難を支援するのか、どうやって避難するのか避難行動要支援者に対し、個別避難計画を作成する。

**問** 支援が必要な高齢者福祉についての基本的な考えと施策は。

**答** 町包括支援センター、町社会福祉協議会及び関係機関と連携し、住宅訪問などを通じて必要な支援を行っている。地域で生活する人々が安心して生活できる「地域共生社会」の実現を目指し地域での支え合いや見守りなどを進める。

**問** 災害時の初期医療にあたる医療従事者の確保は。

**答** 西美濃厚生病院では重症患者及び中等症患者の処置や西濃圏域の災害拠点病院である大垣市民病院への患者移送手配等を行う。医師会に医療救護班の編成及び派遣を要請する。



避難行動要支援者名簿の登録と支援の流れ



大橋みち子 議員

# 子どもの居場所づくりは

## 町長 国や近隣市町村の動向を注視

子どもの孤独・孤立の解消のために、誰もが利用できる身近な場所で、人と人とのかわりがある「子どもの居場所」を考える。

**問** 子どもの居場所について実態把握は。

**答** 就学前児童及び小学生の保護者や町内の17・18歳に居場所に関するアンケートを実施。町内にある居場所は、児童館、図書館、スマイルゲンちゃん学習会、子ども食堂、文化スポーツイベント、地域の公園などがある。心のよりどころとして、孤立しないようにつながりを育んでいる場としている。

**問** 子どもの居場所とまでは。

**答** 子どもから大人までが楽しめる居場所とは。



寺子屋教室のスイカ割り

**答** 子ども施策、福祉施策、教育施策、さらに自治会やまちづくりなどの関係者が連携して取り組む必要がある。「こどもまんなか」の居場所づくりを検討していく。

### 総務民生委員会視察

1月25日

### 産業建設委員会視察

1月26日

○参加委員  
西脇康(委員長)、松永民夫(副委員長)、野村永一、吉田太郎、岩永義仁、佐野伸也

#### 「総合福祉施設について」

(静岡県磐田市)

磐田市総合健康福祉会館(1Fラザ)は、市内に点在していた子育て支援に関する施設・高齢者福祉に関する施設・市役所担当部署などを1箇所に集約し、総合健康福祉施設として機能していた。施設内には「子育て支援センター」「子ども若者支援センター」「社会福祉協議会」「ボランティアセンター」「包括支援センター」「発達支援センター」「市役所福祉部門」など、福祉に関する施設が集約されており、行政と関係機関が同じ施設内にあることにより、相互に顔が見える関係が構築され、包括的な支援が可能であることや、住民の困りごとに応じて複数の窓口を案内する場面にも負担を軽減することができると、多くのメリットを感じた。

また、「喫茶コーナー」「交流ラウンジ」「生きがいづくり室」など、住民が自由に使用できる交流スペースも多く、障がい者も健常者も、子どもから高齢者まで誰もが触れあい、理解しあっている、交流を深める福祉の拠点となっていた。

磐田市は平成17年に市町村合併しており、施設建設費は約16億円であったが、その財源のほとんどが合併した市町村が利用できる合併特例債を活用していた。

本町においては、旧町民プールを改修して総合福祉施設とする計画がある。点在する福祉関係の施設を集約することによる住民の利便性の向上や、適正な公共施設維持管理に寄与するなど、有効性は十分あると考える。一方、財源については有効な補助金や起債がないと一般財源となり、事業規模によっては町財政を圧迫する恐れもある。

町民が求めるニーズや、福祉施策の将来像などを十分加味し、一方で、町財政の中長期的な見通し、点在する公共施設の維持管理の観点も鑑みながら旧町民プールという特殊な建物をどう活用していくのか、早々に結論付けるのではなく、様々な意見を聴取しながら十分に議論して進める必要があると感じた。



○参加委員  
清水由美子(委員長)、北倉義博(副委員長)、水谷久美子、早崎百合子、大橋みち子

#### 「ふじえだmobi実証実験について」

(静岡県藤枝市)

藤枝市では、AIオンデマンド交通「ふじえだmobi」実証運行を令和5年11月1日から12月31日まで実施し、移動のスタイルを変える新しいサービスの有効性を検証していた。

「ふじえだmobi」とは、8人乗りワンボックスワゴン車で運行されるオンデマンド型乗合バスで、事前予約が不要であり、利用したい時に専用のアプリか電話にて配車し、指定した場所から行きたい場所へ行けるもので、乗降ポイントは約200mごとに273か所設置されていた。

アプリによりお迎え時間や到着時間、車両位置が確認できたり、AIシステムが最適ルートを検索し、相乗りで効率よく目的地へ行ける仕組みであった。また、この事業は民間主導で行っており、藤枝市は様々なサポートを行うが財政負担は無い点も特徴的であった。

藤枝市は、市内10地区の生活を支える公共施設や都市機能が分散していることや、民間バス路線が縮小されるなどの課題を解決するために、自主運行バス5路線・自主運行乗合タクシー4区域・シェアサイクル・高齢者移動サービス



バスなどを展開し、各拠点・区域を結ぶ交通ネットワークを形成していた。その手法の一つとして「ふじえだmobi」実証実験を行った結果、住民からは良好な反応であった。

地域交通の充実にあたっては、そこに住み、訪れ、働く人たちの暮らしをしっかりと見て、そこに寄り添い、ニーズを探ることが重要であり、その住民ニーズを把握するために、職員が精力的に取り組まれていた。

当町でもオンデマンドバスが運行されている。まずは現行制度を住民にもっと周知し、加えて、高齢者世帯や一人暮らしが増加していく中、住民の声に耳を傾けニーズをしっかりと把握し、今後、どのように対応していくのか考えていく必要があると感じた。

# 議会ニュース

### 産業建設委員会 養老トンネルを視察

産業建設委員会及び所属外希望議員は1月17日に東海環状自動車道の養老トンネルの工事現場を視察し、NEXCO中日本の担当者より説明を受けました。



### 垂井町議会と交流会

1月18日、垂井町議会が養老テレワーク施設YOROfficeを視察し、当町担当者より説明を受けられ、その後当町議会と意見交換をしました。



### 長野県飯綱町議会が当町議会を視察

1月23日に長野県飯綱町は、当町が令和4年度に議員定数を削減した経緯等について調査研究のため、当町議会を視察されました。



## あれからどうなったんやあ〜 シーズ110

このシリーズは、過去の定例会(今回は令和4年3月議会)での一般質問に関して、その後の状況をお知らせするものです。

### 問 男性トイレのサンタリーBOXは

#### こうなりました

男性用個室トイレのサンタリーボックスは、病気治療や加齢により日常的に尿漏れパッド等を使用する方が、安心して外出していただけるよう、全国の自治体や民間事業所において、設置が進められています。

町公共施設においても、全ての方が安心して利用できる環境を整備するため、各施設の利用状況やトイレ個室スペースなども考慮しつつ、順次設置を進めており、令和5年度までに27施設に設置し、今年度中には、7施設に設置を予定しています。

また、施設への表示等により、設備設置を周知し、適切な使用を呼び掛けてまいります。



### 海津市議会がそよかぜ教室を視察

2月6日、海津市議会が養老福祉作業所に併設されているそよかぜ高田教室を視察され、当町担当課より説明を受けられました。



### 産業建設委員会 ミズノテクニクス株を視察

産業建設委員会及び所属外希望議員は2月20日に当町高田地内にあるミズノテクニクス株式会社を訪問し、会社の概要等の説明を受け、バット製作などの工場内を視察しました。

